

よこてこふんぐん
横手古墳群



A群の古墳の様子

種別

県指定史跡

指定年月日

昭和53年4月7日

所在地

南相馬市鹿島区横手字八蒔ほか

所有者

個人

南相馬市鹿島区を流れる真野川の北東に分布し、A群・B群の二群から構成されています。A群は、全長約30メートルの前方後円墳1基と直径15～20メートル程度の円墳14基で構成されています。B群は、直径約33メートルという浜通り地方最大の円墳である1号墳を含む4基の円墳で構成されています。

古墳時代後期の群集墳としての特色をよく示しています。

A群の1号墳（前方後円墳）は、国道6号線の工事で前方部が消滅しました。

B群の1号墳は周溝が良好に残っています。また、古墳の上には初発神社が建てられています。



A群の古墳の様子



B群1号墳上の初発神社

